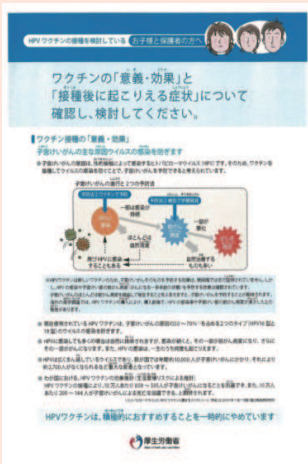


1. 子宮頸がん予防ワクチン
情報提供について

質問

子宮頸がん予防ワクチンは年間約 10,000 人の人が罹患し、約 3,000 人の人が亡くなっており、近年、子育て世代の若年女性が多く罹患しております。HPV ワクチンは、定期接種で小学校 6 年生から高校 1 年生の女子は無償で 3 回受ける事ができます。(1 回 16,000 円)
現在、国は積極的勧奨を控えておりますが、HPV ワクチンの正しい情報を知って接種の判断をして頂くためにも、個別通知による確実な情報提供を実施する必要があると思っておりますがいかがでしょうか。



答え

子宮頸がんワクチンについて正しい情報提供をすることは、重要であると認識しております。現在、国において、情報提供の方法について協議が行われており、その協議内容を十分に注視してまいります。

■ 公明党市議団が緊急要望した内容が反映されました。

総額約 **12 億円** 感染症対策の主な内容

市内経済の回復や市民活動の再開の支援

- ・ビジネスサポート応援給付金 【約 5 億 100 万円】
 - > 市内に本社機能を有する法人に **20 万円**、個人事業主に **10 万円**
 - > 県の支援金を受けた市内事業所に **10 万円**
- ・水道基本料金 4 カ月分を**免除** 【約 4 億 3,400 円】

経済的に厳しい家庭の子どもたちの健やかな成長の支援

- ・児童扶養手当を受給している世帯の**児童 1 人当たり 3 万円**
- ・要保護認定世帯の**児童生徒 1 人当たり 3 万円を支給**

感染拡大を防ぐための医療の充実や抑止策への対応

- ・庁舎管理事務・蓄備品等整備事業

■ 国の第 2 次補正予算を受け石川市長へ公明党市議団で要望書を提出いたしました。

- GIGA スクール構想・1 人 1 台 端末機配布を急ぐこと
- プレミアム付き 商品券の発行
- デジタルデバイス 対策の推進など 20 項目にわたり要望 (2020 年 6 月 19 日)

